

「HELPER STATION」 2014年5月30日 OA

橋本： 介護に関するアンケートの中から疑問・質問を抜粋して高野さんにお答えいただきます。

「事業所によって介護の質がかなり違うような気がする」ということですが、いかがでしょうか？

高野： 確かに事業所によって介護の質は、違いますね。訪問系の事業所か、施設系の事業所かによっても違うし、上司や上にあたる人間が介護職の人かそうでないかによっても全然違ってきます。

橋本： 共通のマニュアルはないんですか？

高野： ある程度マニュアル的なものを作っていたとしても、その場で動いていく専門職の集まりなので、その場で動いていく時に、そこでどう考えて、対応していくか。マニュアルがあっても利用者さまはその都度違うので、根っこの考え方をどういう風に教えられているかで変わってきます。

橋本： なるほど。事業所のカラーがあるんですね？

高野： そうです。高校や大学の教育と同じように、そこで教えられていることが違えば違う子たちが育ってくる。会社として、また、事業所として、「介護ってどういう風にやるんだよ」ということをちゃんと教えるところが出てくると、全然違いが出てきます。

橋本： 教育面で「ここは譲れない」「ここはしっかり学んで欲しい」というポイントはありますか？

高野： 今の介護の流れを見ていると、昔と違ってより高度なことが介護スタッフに求められています。僕がやっている施設もそうですが、重度な人や寝たきりの人が増え、うちのスクールで教えている『喀痰吸引』という医療行為をしなければいけない状況です。『喀痰吸引』を資格として認めることになったのは、介護スタッフに更に高いレベルを求めているということ。その割には、スクールをやっていて言うのもなんですが、『介護職員初任者研修』は1ヶ月受講して、資格が取得できて、働けてしまう。「1ヶ月で何が学べるんだろう？」と、やっていて言うのもおかしな話ですが。

橋本： 資格を取った後も、続けて教育をしていく必要があるんですね。

高野： そうですね。僕ら看護師は学校で3年学んで、その後病院での教育が3年と、5~6年の教育を経て、それでもちょっと使えるようになったか、邪魔にならなくなったかなという位。(仕事ができるようになるまでに)5年、10年というスパンで見ると、介護保険制度は出来てまだ十数年。介護の資格が出来たのも昭和の最後で平成の文化なので、まだまだ教育がなされていない

いのが現状です。大ベテランといわれる程の経験を持っている人もまだそれ程たくさんいないと思うので、そこが（介護現場での教育環境の）大きな違いになってくると思います。

橋本： では、**介護の質の向上には何が必要でしょうか？**

高野： まず、教育だと思います。実際、「HELPER STATION」にいらっしゃる看護師さんはじめ、いろんな方と実際に関わってみてどんな感じですか？

橋本： 誇りを持っているというか、自分がやっている仕事に対してすごく楽しんでいて、責任を持ってやっていたらっしゃる方が多いなと感じました。

高野： どのような思いを持っているかが、大切ですね。自分自身が看護師として、ケアマネージャーとして、介護スタッフとして。「己は何をする人間なんだ」「自分は何がしたいんだ」「何の為に介護をしているんだ」ということを、ちゃんと気持ちの中に持っている人が良い介護スタッフになっていきます。「質の向上に何が必要か？」って言われると、その人自身の質な訳だから、「自分がこういう介護スタッフになりたい」という目標設定をしっかりと、理念を持っていることが重要だと思います。仕事をしていく中で、いろんなことがあっても流されず、「俺はこうやってやるんだ！」って思っていけるような介護の世の中をつくっていけば、介護の質は勝手に上がっていくのではないかなと。

橋本： それぞれ個人の理念の持ち方が、質の向上につながっていくと。

高野： そうです。どんなに上が偉そうなことを言っても、その人が力を発揮しなければ事業所は良くなる。介護スタッフたちが「よしっ！」って思うような環境づくりをすること。そして、重度な人たちが増える状況の中、介護の知識と技術だけでは対応できなくなってきているので、「更にバージョンアップしていく」「勉強をたくさんしていく」「セミナーを受けに行く」というように、己自身の成長を己で出来るようになることが、質の向上につながりますね。

橋本： 介護の仕事についたから終わりではなく、更に高い目標を持っていくのが必要になってくるんですね。

高野： 僕も代表として、経営者として、施設もやっているけど、おむつ替えているところや、体の向きを変えているところを、ずっと見ていて指導できる訳ではない。介護スタッフとしてきちんとした気持ちを持ってやっている人は、扉が閉まっても、カーテンが閉まっても、質の良い介護をしている。そういった職員を育てていくというのが一番重要だと思います。

橋本： なるほど。ありがとうございました。